マイクロプロセッサ内の命令およ	野卵丁学科 単心の種別と単位数 原作単位: 1	科目基礎		專門学校	え 開講年度	平成29年度 (2	2017年度)		受業科目	計算機工学	<u> </u>		
授業 特の	野師丁学科 対象学年 3 3 3 3 3 3 3 3 3		性情報										
田野学科 内部的工学科 対象学生 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1	対象学年						科目区分		専門 / 必	修			
開設期 期限 利用 利用 利用 利用 利用 利用 利用 利	 製売間談 2 2<!--</td--><td colspan="3"></td><td></td><td></td><td>単位の種別と単位</td><td>立数</td><td>履修単位:</td><td>1</td><td></td>						単位の種別と単位	立数	履修単位:	1			
製造	 第「コンピュータアーキテクチャ」(昭晃堂) 参考資料:情報処理技術者試験資料	開設学科					対象学年		3				
担当官標	要が理解できる。 ランクの基本を理解できる。 の関係を理解できる。 の関係を理解できる。 の関係を理解できる。 の関係を理解できる。 の関係を理解できる。 フィクロプロセッサ内の命令およ びナータの機理経路を把握できる。 フィクロプロセッサの内が構成が、 カルレンスタ。ALV、特権用途 レジスタをパス機能されている。 とを担保できる。 フータの領域権保など、アセンブ 上球心命令も関係し、アセンブリニ語命令の分類と、その ではあつ引致度したとの構造を理解した。 フータの領域権保など、アセンブリニ語命の分類と、その ではあつ引致度したとの構造を理解した。 ではあつ引致度したとの構造を理解した。 フータの領域権保など。アセンブリニ語の自然を理解した。 ではあつ引致度したとの構造を理解した。 フータの領域権保などの構造を理解した。 ローラヤ・トをアセンブリ に、アセンブリニ語に 直き換えられる。 コローラヤ・トをアセンブリニ語に 直き換えることが できない。 DBI係 温養では電子制御機器の中核であるマイクロプロセッサの展本を選集する。 基本情報処理技術者試験のCOMET2を とし、その動作限を調査する。 前期はマイクロプロセッサの展本を選集する。 基本情報処理技術者試験のCOMET2を とし、その動作限を調査する。 前期はマイクロプロセッサの展表を選集者のことを主服とするので、特に、コンピタアーキテクチャの特徴、およびそれに基づいて構築学れているの命外系の上に、言語の一基本制御解音の連接を発める。 全で時代に、アセンブリニ語の関係を明らかにする。 講教の関に、重要な内容についての学生に質問して権認する のご定期試験を行い、その呼ら点で定理は機能を発揮する。 議会の関に、重要な内容についての学生に質問して権認する のご定性が関係を明らからし、各関に関係を明らかによる。 メロの自然を影響が関係を明らかによる。 スタリニの音が記念が取り、マイクロプロセッサのの関連が理解できる。 スタリニの音が記念が関係、有数と現象のでは、カーターの関連が理解できる。 フーアセンブリニ語の目の命令、新なら令: LD、LAD、ST CASL II の命令、新な命令: LD、LAD、ST CASL II の命令、 ありみ、SUBA 2 アセンブリニ語がログラミングの基本を理解できる。 2 アセンブリニ語がログラミングの基本を理解できる。 2 アセンブリニ語の目標を理解できる。 2 アセンブリニ語の目標を理解できる。 2 アセンブリニ語の目標を理解できる。 2 アセンブリニ語の目標を理解できる。 2 アセンブリニ語の目標を理解できる。 3 C言語とアセンブリニ語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリニ語の関係を理解できる。 4 アータフス付間放射によっていまが関係を理解できる。 4 アータフス付置がアトンタングによる配別の取り数 4 アータンブリニ語の関係を理解できる。 4 アータンブリニ語の関係を理解する。 4 アータンブリニ語の関係を理解する。 4 アータンブリニ語の関係を理解する。 5 言語とアセンブリニ語の関係を理解する。 5 言語とアータンブリニ語の関係を理解する。 5 言語をアータンブリニ語がよるでは、1 アータンブリニ語がないますないますなどの関係を理解する。 5 言語をアータンブリニーターの関係を理解する。 5 言語をアータンブリニーターの表を関係を定述する。 5 言語をアータンブリーを表がよるでは、1 アータンブリーを表がまする。 5 言語をアーターの表が表がまする。 5 言語をアーターの表がまする。 5 言語をアーターの表が表がまする。 5 言語をアーターの表が表がまする。 5 言語をアーターの表が表	開設期											
到達目標 マイクロブロセッサの概要が理解できる。 ま門高端プログラミグを登録する。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 標準的な到達レベルの目安 未到達レベルの目安 アイクロブロセッサ内の合きおよりテータの処理経路を把握できる。 マイクロブロセッサ内の合きない。 がアータの処理経路を把握できる。 評価項目 1 マイクロブロセッサ内の合きない。 がアータの処理経路を把握できる。 本人を必然な機体は、アセンブラータを対した。それにもたらう自然度しなどの構造を理解し、アセンブラータを経験できる。 アセンブリーのの対し、アセンブラータを経験できる。 アセンブリーのの対し、アセンブリーのの対し、それにもたらう自然度しなどの構造を理解し、アセンブリーのスモリアドレッシンチェードを関する。 会話の関助が行出した。それにもたらから自然を理解し、アセンブリーのアログリーチャートをアセンブリーのに対して、それをアセンブリーのアログリーチャートをアセンブリーのに対して、アセンブリーのアログリーチャートをアセンブリーのに対して、アセンブリーのアログリーチャートをアセンブリーのに対して、アセンブリーのに対して、アセンブリーのに対して、アセンブリーのに対して、アセンブリーのに対して、アセンブリーのに対して、ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	要が理解できる。	教科書/教	材	福本聡	「コンピュータアーキ	テクチャ」(昭晃:	堂) 参考資料:	情報处	0.理技術者試	験資料			
1 マイクロブロセッサの概要が理解できる。 2 アセンブリ言語の関係を理解できる。 3	ではいる到達レベリルの目安 標準的な到達レベリルの目安 マイクロプロセッサの内部構成が サイフの関係を理解できる。 マイクロプロセッサの内の部構成が フィクロプロセッサの内の部構成が レデータの処理経経を把握できる。 アセンプ アナンプリ言語の自然を理解した アセンプ アナンプリ言語の自然を理解した アセンプリ言語の関係を理解した アセンプリ言語の できない アセンプリ言語の できない アセンプリ言語の できない アセンプリ言語の関係を理解した アセンプリ言語で表現できる。 こ言語の同様を保など、アセンプ アセンプリ言語の できない アセンプリ言語の できない アセンプリ言語できない できない アセンプリ言語できない できない アセンプリ言語できない できない アセンプリ言語できない できない アセンプリ言語できない できない アセンプリ言語できない ここの アナートを アセンプリ言語できない できない アセンプリ言語できない できない アウンプリ言語で言ない できない アンプリ言語で言ない ない アウンプリ言語で言ない ない アウンプリ言語で言ない ない アウンプリ言語で言ない ない アウンプリ言語で言ない ない アウンプリ言語で言ない ない アウンプリ言語で言ない できない アウンプリ言語で言ない アクロプロセッサの構造と動作原理を把握する。 基本情報処理技術を理解した アクアーキアクチャの特徴 およびそれに基づいて構築されている命令を作るして成績評価をする。 議案内容の理解を深めい ここのでで アウンプリー語の 同念体が影を加味(30%)し、各種が表別を行い、その平均点で定期は収益を確認して成績評価をする。 個女 アクロプロセッサの概要が理解で言る。 のの定期は験を行い、その平均点で定期は収益を確認しまない アウンプリ言語でログラミングも基本理解できる。 アセンプリ言語でログラミングの基本を理解できる。 アセンプリ言語でログラミングの基本を理解できる。 アセンプリ言語でログラミングの基本を理解できる。 アセンプリ言語でログラミングの基本を理解できる。 アセンプリ言語でログラミングの基本を理解できる。 アセンプリ言語でログラミングの基本を理解できる。 アセンプリ言語でログラミングの基本を理解できる。 アセンプリ言語の情係を理解できる。 こ言語とアセンプリ言語の関係を理解できる。 ス言語とアセンプリ言語の関係を理解できる。 ス言語とアセンプリ言語の関係を理解できる。 ス言語とアセンプリ言語の関係を理解できる。 ス言語とアセンプリ言語の関係を理解できる。 ス言語とアセンプリ言語の関係を理解できる。 ス言語とアセンプリ言語の関係を理解できる。 ス言語とアセンプリ言語の関係を理解できる。 ステクス付間接アドレッシングによる配列の取り取り、 ステクス付間接アドレッシングによる配列の取り取り、 ステクス付間接アドレッシングによる配列の取り取り、 ステクス付間接アドレッシングによる配列の取り取り、 ステクス付間接アドレッシングによる配列の取りを理解しまない。 ステレンプリ言語の関係を理解できる。 ステクス付間接アドレッシングによる配列の取り取りではないできる。 ステレンプリ言語の関係を理解できる。 ステレンプリ言語の関係を理解できる。 ステクス付間接アドレッシングによる配列の取り表述を理解しませないできないでは、 ステクスによりでは、 ステクスにより	担当教員		町田 秀	和								
2 アセンブリ言語か回内ラミンクの基本を理解できる。	では、	到達目標	票										
理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 未到達レベルの目安 不少のコプロセッサ内の合きおよびデータの処理経路を把握できる。	マイクロプロセッサ内の命令およびデータの処理経路を把握できる。	2 アセン 3 C言語	シブリ言語で	ブログラミ:	ングの基本を理解でき	る。							
 評価項目 1 マイクロプロセッサ内の命令およびアータの処理経路を把握できる。	マイクロプロセッサ内の命令およびデータの処理経路を把握できる。	ルーノリ	ノツク		田相的共和人			° 11 ⊄		士がいきし ベル			
マイクロプロセッサ内の命令およしたアータの処理経験を把握できる。	マイクロプロセッサ内の命令およ				理想的な到達レハ	ルの日女	信学的は到達レ/	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	川女				
評価項目 2	リ疑似命令も理解し、プログラム	評価項目 1	1		マイクロプロセッ びデータの処理経 。	マイクロプロセッサ内の命令およ びデータの処理経路を把握できる 。		、汎用レジスタ、ALU、特種用途 レジスタをバス接続されているこ			.タ、ALU、特種原 ス接続されている		
評価項目 3	し、アセンブリ言語で表現できる	評価項目2	2		リ疑似命令も理解し、プログラム		のメモリアドレッシングモードを			のメモリアド 理解できてい	・レッシングモー っない。		
学科の到達目標項目との関係 教育方法等 本講義では電子制御機器の中核であるマイクロプロセッサの基本を講義する。基本情報処理技術者試験のCON 対象とし、その動作原理を調査する。前期はマイクロプロセッサ(中央演算処理装置)の概要を把握し、アセンプ ワグラムを理解する。 講義を中心に授業を進める。マイクロプロセッサの構造と動作原理を把握することを主眼とするので、特に、コータアーキテクチャの持徹、およびそれに暴力いて構築されている命令体系ついて講論する。講義内容の理解るために、C言語とアセンプリ言語の関係を明らかにする。講義の間に、重要な内容についての学生に質問して行類質問的の回答状況等を加味(30%)し、各到達目標の達成度を確認して成精評価をする。	 D関係 講義では電子制御機器の中核であるマイクロブロセッサの基本を講義する。基本情報処理技術者試験のCOMET2をとし、その動作原理を調査する。前期はマイクロブロセッサ(中央演算処理装置)の概要を把握し、アセンブリ言語で表を中心に実際する。表を中心に実施さる。 講義内容の理解を深めめに、C言語とアセンブリ言語の関係を明らかにする。 講義の間に、重要な内容についての学生に質問して確認する 画面 形式の等が見います。 画面 表和 図の室期試験を行い、その平均点で定期試験結果を評価する(70%)。その他、ソフトウェア演習課題および個別口間の回答状況等を加味(30%)し、各到達目標の達成度を確認して成精評価をする。 相田 表和 図の画を規試験を行い、その平均点で定期試験結果を評価する(70%)。その他、ソフトウェア演習課題および個別口間の回答状況等を加味(30%)し、各到達目標の達成度を確認して成精評価をする。 2	評価項目3	3		もなう引数渡しな	そのフローチャ-	のフローチャートをアセンブリ			フローチャートを			
数音方法等	議義では電子制御機器の中核であるマイクロプロセッサの基本を講義する。基本情報処理技術者試験のCOMET2をとし、その動作原理を調査する。前期はマイクロプロセッサ(中央演真処理装置)の概要を把握し、アセンプリ言語う人を理解する。 義を中心に授業を進める。マイクロプロセッサの構造と動作原理を把握することを主眼とするので、特に、コンピタアーキアグチャの特徴、およびそれに基づいて構築されている命令体系ついて認識する。 講義内容の理解を深めめに、(言語とアセンプリ言語の関係を明らかにする。講義の間に、重要な内容についての学生に質問して確認する。 回の定期試験を行い、その平均点で定期試験結果を評価する(70%)。その他、ソフトウェア演習課題および個別口間の回答状質を加味(30%)し、各到達目標の達成度を確認して成補評価をする。 名 即由 寿和 (A-220) 第2 (A-220)	学科の至	達日標I	夏目との『	 関係		•						
本講義では電子制御機器の中核であるマイクロプロセッサの基本を講義する。基本情報処理技術者試験のCOM対象とし、その動作原理を調査する。前期はマイクロプロセッサ(中央演算処理装置)の概要を把握し、アセンプログラムを理解する。	万人を理解する。 またいして理解を進める。マイクロブロセッサの構造と動作原理を把握することを主眼とするので、特に、コンピタアーキテクチャの特徴、およびそれに基づいて構築されている命令体系ついて議論する。講義内容の理解を深めめに、C言語とアセンブリ言語の関係を明らかにする。講義の間に、重要な内容についての学生に質問して確認する。 回の定期試験を行い、その平均点で定期試験結果を評価する(70%)。その他,ソフトウェア演習課題および個別口間の言を状況等を加味(30%)し、各到達目標の達成度を確認して成績評価をする。 1名 田			<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	- S 1/11								
講義を中心に授業を進める。マイクロプロセッサの構造と動作原理を把握することを主眼とするので、特に、ユータアーキテクチャの特徴、およびそれに基づいて構築されている命令体系ついて議論する。講義内容の理解るために、言語とアセンブリ言語の関係を明らかにする。講義の間に、重要な内容についての学生に質問しての言語とアセンブリ言語の関係を明らかにする。講義の間に、重要な内容についての学生に質問しての事性の関質的の回答状況等を加味(30%)し、各到達目標の達成度を確認して成績評価をする。	蔵を中心に授業を進める。マイクロブロセッサの構造と動作原理を把握することを主眼とするので、特に、コンピタアーキアクチャの特徴、およびそれに基づいて構築されている命令体系ついて議論する。講義内容の理解を深めした、言語とアヤシブリ言語の関係を明らかにする。講義の間に、重要な内容についての学生に質問して確認する。 同の定期試験を行い、その平均点で定期試験結果を評価する(70%)。その他、ソフトウェア演習課題および個別口間の回答状況等を加味(30%)し、各到達目標の達成度を確認して成績評価をする。 国の定期試験を行い、その平均点で定期試験結果を評価する(70%)。その他、ソフトウェア演習課題および個別口間の回答状況等を加味(30%)し、各到達目標の達成度を確認して成績評価をする。 2番 A限之解 (A-220) 電話 8957 回記: machida@maizuru-ct.ac.jp 授業内容 シラバス内容の説明、マイクロプロセッサCOMET II の 概要 1 マイクロプロセッサの概要が理解できる。 2進数表現のための基数変換、補数表現 COMET II のプログラミングモデルと実効アドレス CASL II の命令とアドッレッシングモード 2。アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 1 マイクロプロセッサの概要が理解できる。 CASL II の命令、転送命令:LD,LAD,ST CASL II の命令、		المكا	本講り対象とし	義では電子制御機器の し,その動作原理を調か	中核であるマイク! 査する。前期はマ	ロプロセッサの基 イクロプロセッサ	本を調 (中央	構義する。基 演算処理装置	本情報処理技術 量)の概要を把握	者試験のCOMET し,アセンブリ言		
注意点	間の回答状況等を加味(30%)し,各到達目標の達成度を確認して成績評価をする。 名 町田 秀和	授業の進め	か方・方法	講義を	ログラムを理解する。 講義を中心に授業を進める。マイクロプロセッサの構造と動作原理を把握することを主眼とするので、特に、コンュータアーキテクチャの特徴、およびそれに基づいて構築されている命令体系ついて議論する。講義内容の理解を深るために、C言語とアセンブリ言語の関係を明らかにする。講義の間に、重要な内容についての学生に質問して確認								
授業計画	授業内容 週ごとの到達目標 シラバス内容の説明、マイクロプロセッサCOMET II の 根要 2進数表現のための基数変換、補数表現 1 マイクロプロセッサの概要が理解できる。 COMET II のプログラミングモデルと実効アドレス 1 マイクロプロセッサの概要が理解できる。 CASL II の命令とアドッレッシングモード 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、転送命令: LD,LAD,ST 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、減算命令: ADDA,SUBA 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 2 アセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語の「クラムのアセンブリ言語表現(基本制御構造 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解でする。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリーを 3 C C T T T T T T T T T T T T T T T T T			0			っかにする。講義の	り回に	、里女は四	答につい (の字音	王に質問して傩誌		
前期 授業内容 週ごとの到達目標 1週 投資内容の説明,マイクロプロセッサCOMET II の	シラバス内容の説明,マイクロプロセッサCOMET II の 概要 1 マイクロプロセッサの概要が理解できる。 2進数表現のための基数変換,補数表現 1 マイクロプロセッサの概要が理解できる。 COMET II のプログラミングモデルと実効アドレス 1 マイクロプロセッサの概要が理解できる。 CASL II の命令とアドッレッシングモード 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、転送命令: LD, LAD, ST 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、演算命令: ADDA, SUBA 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、分岐命令: JUMP, JPL, JMI, JZE, JNZ, JOV 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 前期中間試験 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 アセンブリ言語CASL II によるプログラミング 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表現。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語のfor文およびbreak,continue文のアセンブリ言語表現 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 数直線の分類プログラミング 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 インデクス付間接アドレッシングによる配列の取り扱い 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 ソートプログラムへの応用など 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。	注意点		頭質問(教 員 名 研 究 室 内線電	の回答状況等を加味(30 名 町田 秀和 蚤 A棟2階 (A-220) 話 8957	の平均点で定期試 3%)し,各到達目	 験結果を評価する	(70%	o)。その他,	 ソフトウェア演			
1週 シラバス内容の説明、マイクロプロセッサCOMETIO 1 マイクロプロセッサの概要が理解できる。 2週 2進数表現のための基数変換、補数表現 1 マイクロプロセッサの概要が理解できる。 3週 COMETIのプログラミングモデルと実効アドレス 1 マイクロプロセッサの概要が理解できる。 4週 CASLIの命令とアドッレッシングモード 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を摂る。 7週 CASLIの命令、転送命令:LD,LAD,ST 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を摂る。 7週 CASLIの命令、演算命令:ADDA,SUBA 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を摂る。 7週 CASLIの命令、分岐命令 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を摂る。 7週 では、	シラバス内容の説明,マイクロプロセッサCOMET II の 概要 1 マイクロプロセッサの概要が理解できる。 2進数表現のための基数変換,補数表現 1 マイクロプロセッサの概要が理解できる。 COMET II のプログラミングモデルと実効アドレス 1 マイクロプロセッサの概要が理解できる。 CASL II の命令とアドッレッシングモード 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、転送命令: LD, LAD, ST 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、演算命令: ADDA, SUBA 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、分岐命令: JUMP, JPL, JMI, JZE, JNZ, JOV 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 前期中間試験 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 アセンブリ言語CASL II によるプログラミング 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表現。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語のfor文およびbreak,continue文のアセンブリ言語表現 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 数直線の分類プログラミング 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 インデクス付間接アドレッシングによる配列の取り扱い 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 ソートプログラムへの応用など 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。		FI	頭質問(教 員 名 研 究 室 内線電	の回答状況等を加味(30 名 町田 秀和 蚤 A棟2階 (A-220) 話 8957	の平均点で定期試 3%)し,各到達目	 験結果を評価する	(70%	o)。その他,	 ソフトウェア演			
1	COMETIのプログラミングモデルと実効アドレス 1 マイクロプロセッサの概要が理解できる。 CASLIの命令とアドッレッシングモード 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASLIの命令、転送命令: LD,LAD,ST 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASLIの命令、演算命令: ADDA,SUBA 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASLIIの命令、分岐命令: JUMP,JPL,JMI,JZE,JNZ,JOV 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 前期中間試験 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 アセンブリ言語の口グラミングの基本を理解できる。 C言語プログラムのアセンブリ言語表現(基本制御構造など) 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語のfor文およびbreak,continue文のアセンブリ言語表現 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 数直線の分類プログラミング 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 インデクス付間接アドレッシングによる配列の取り扱い 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 ソートプログラムへの応用など 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 ソートプログラムへの応用など		<u> </u>	頭質問的 教員名 研究室 内線電記 e-mail:	の回答状況等を加味(36 4 町田 秀和 E A棟 2 階 (A-220) 話 8957 : machida@maizur	の平均点で定期試 3%)し,各到達目	 験結果を評価する	(70% UT!))。その他, 成績評価をす	ソフトウェア演 る。			
1stQ	CASL II の命令とアドッレッシングモード 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、転送命令: LD,LAD,ST 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、演算命令: ADDA,SUBA 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、分岐命令: JUMP,JPL,JMI,JZE,JNZ,JOV 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 前期中間試験 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 アセンブリ言語CASL II によるプログラミング 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表現。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語のfor文およびbreak,continue文のアセンブリ言語表現の分類プログラミング 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 インデクス付間接アドレッシングによる配列の取り扱い 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 ソートプログラムへの応用など 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。		<u> </u>	頭質問6 教員名 研究室 内線電i e-mail:	の回答状況等を加味(36 4 町田 秀和 E A棟 2階 (A-220) 話 8957 : machida@maizur 授業内容	の平均点で定期試 0%)し,各到達目 u-ct.ac.jp	験結果を評価する 標の達成度を確認	(70% して£	o)。その他, 成績評価をす との到達目標	ソフトウェア演 ⁻ る。 -	習課題および個別		
1stQ 5週 CASL II の命令、転送命令: LD,LAD,ST 2	CASL II の命令、転送命令: LD,LAD,ST 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、演算命令: ADDA,SUBA 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、分岐命令: JUMP,JPL,JMI,JZE,JNZ,JOV 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 前期中間試験 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 で言語プログラムのアセンブリ言語表現(基本制御構造など) 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表現 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語のの分類プログラミング 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 インデクス付間接アドレッシングによる配列の取り扱い 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 ソートプログラムへの応用など 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。		<u> </u>	頭質問。 教子 研究電 e-mail: 週	の回答状況等を加味(30 五 町田 秀和 五 和棟 2 階 (A-220) 話 8957 : machida@maizur 授業内容 シラバス内容の説明 概要	の平均点で定期試 0%)し,各到達目 u-ct.ac.jp ,マイクロプロセ	験結果を評価する 標の達成度を確認 ッサCOMETⅡの	(70% して!! 週ご	。)。その他, 成績評価をす との到達目標 マイクロプロ	ソフトウェア演 る。]セッサの概要か	習課題および個別		
1stQ 5週 CASL II の命令、転送命令: LD,LAD,ST 2。アセンブリ言語プログラミングの基本を担合。 前期 CASL II の命令、演算命令: ADDA,SUBA 2。アセンブリ言語プログラミングの基本を担合。 7週 CASL II の命令、分岐命令: JUMP,JPL,JMI,JZE,JNZ,JOV 2。アセンブリ言語プログラミングの基本を担合。 前期中間試験 2。アセンブリ言語プログラミングの基本を担合。 10週 C言語プログラムのアセンブリ言語表現(基本制御構造 など) 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できまます。 11週 C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できまます。	CASL II の命令、転送命令: LD,LAD,ST 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、演算命令: ADDA,SUBA 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、分岐命令: JUMP,JPL,JMI,JZE,JNZ,JOV 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 前期中間試験 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 アセンブリ言語CASL II によるプログラミング 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表現。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語のfor文およびbreak,continue文のアセンブリ言語表現。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 数直線の分類プログラミング 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 インデクス付間接アドレッシングによる配列の取り扱い 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 ソートプログラムへの応用など 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。		<u> </u>	頭質問名名 教究電 内線和記 e-mail: 週 1週 2週	の回答状況等を加味(30 エ	の平均点で定期試 0%)し,各到達目 u-ct.ac.jp ,マイクロプロセ 甚数変換,補数表理	験結果を評価する 標の達成度を確認 ッサCOMETⅡの	(70% して!! りて!! 1	o)。その他, 成績評価をす との到達目標 マイクロプロ	ソフトウェア演 る。 ! ! !セッサの概要か !セッサの概要か	習課題および個別 「理解できる。 「理解できる。		
6週	CASL II の命令、演算命令: ADDA,SUBA 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 CASL II の命令、分岐命令: JUMP,JPL,JMI,JZE,JNZ,JOV 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 前期中間試験 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 アセンブリ言語CASL II によるプログラミング 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 C言語のIf文およびswitch-case文のアセンブリ言語表現。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語のfor文およびbreak,continue文のアセンブリ言語表現。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 数直線の分類プログラミング 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 インデクス付間接アドレッシングによる配列の取り扱い 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 ソートプログラムへの応用など 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。		<u> </u>	頭質員名字配。	の回答状況等を加味(36 町田 秀和 新 A棟 2 階 (A-220) 話 8957 : machida@maizur 授業内容 シラバス内容の説明 概要 2進数表現のためのき COMET II のプログラ	の平均点で定期試 0%)し,各到達目 u-ct.ac.jp , マイクロプロセ 甚数変換,補数表野 ラミングモデルと	験結果を評価する 標の達成度を確認 ッサCOMETⅡの 現 実効アドレス	(70% してが 週ご 1 1	o)。その他, 或績評価をす との到達目標 マイクロプロ マイクロプロマイクロプロ	ソフトウェア演 る。]セッサの概要か]セッサの概要か]セッサの概要か	習課題および個別 「理解できる。 「理解できる。		
前期 CASL II の命令、分岐命令 : JUMP, JPL, JMI, JZE, JNZ, JOV 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理る。 前期 9週 アセンブリ言語CASL II によるプログラミング 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理る。 10週 C言語プログラムのアセンブリ言語表現(基本制御構造など) 11週 C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表現(基本制御構造など) 11週 C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表現(基本制御構造など) 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。	CASL II の命令、分岐命令 : JUMP, JPL, JMI, JZE, JNZ, JOV 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 前期中間試験 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 アセンブリ言語CASL II によるプログラミング 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 C言語プログラムのアセンブリ言語表現(基本制御構造など) 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語のfor文およびswitch-case文のアセンブリ言語表現 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 歴書表現 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 対直線の分類プログラミング 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 インデクス付間接アドレッシングによる配列の取り扱い 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 ソートプログラムへの応用など 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。			頭質員名等 (四十年)	の回答状況等を加味(36 H 町田 秀和 E A棟 2 階 (A-220) E 8957 H machida@maizur 授業内容 シラバス内容の説明 概要 2進数表現のための基 COMET II のプログラ	の平均点で定期試 0%)し,各到達目 u-ct.ac.jp , マイクロプロセ 表数変換,補数表類 ラミングモデルとう	験結果を評価する 標の達成度を確認 ッサCOMET II の 現 実効アドレス ード	週ご 1 1 1 2 3。	o)。その他, 或績評価をす との到達目標 マイクロプロ マイクロプロマイクロプロ マイクロプロアセンブリ言	ソフトウェア演 る。 コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か	習課題および個別が理解できる。 が理解できる。 が理解できる。 が理解できる。 ・グの基本を理解		
前期中間試験 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を担る。 9週 アセンブリ言語CASL II によるプログラミング 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を担る。 10週 C言語プログラムのアセンブリ言語表現(基本制御構造など) 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できなど。 11週 C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表現を理解できなど。	前期中間試験 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 アセンブリ言語CASL II によるプログラミング 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 C言語プログラムのアセンブリ言語表現(基本制御構造など) 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表現 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語のfor文およびbreak,continue文のアセンブリ言語表現 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 数直線の分類プログラミング 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 インデクス付間接アドレッシングによる配列の取り扱い 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 ソートプログラムへの応用など 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。			頭質員究電 有所線 中 中 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	の回答状況等を加味(36 H 町田 秀和 H 和棟 2 M (A-220) E A棟 2 M (A-220) E 8957 H machida@maizur 授業内容 シラバス内容の説明 概要 2進数表現のための基 COMET II のプログラ CASL II の命令、転送	の平均点で定期試 0%)し,各到達目 u-ct.ac.jp ,マイクロプロセ 基数変換,補数表現 ラミングモデルと見 ベッレッシングモー 送命令:LD,LAD,S	験結果を評価する 標の達成度を確認 ッサCOMET II の 見 実効アドレス ード ST	週ご 1 1 2 3。 2 3。	。その他, 成績評価をす との到達目標 マイクロプロ マイクロプロ マイクロプロアセンブリ言 アセンブリ言	ソフトウェア演 る。 コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か 語デログラミン	習課題および個別が理解できる。 が理解できる。 が理解できる。 ・グの基本を理解 ・グの基本を理解		
9週 アセンブリ言語CASLII によるプログラミング 2 アセンブリ言語プログラミングの基本を摂る。 10週 C言語プログラムのアセンブリ言語表現(基本制御構造 など) 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 11週 C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表現のフェンブリ言語表現の関係を理解できる。	アセンブリ言語CASLIIによるプログラミング 2。アセンブリ言語プログラミングの基本を理解できる。 C言語プログラムのアセンブリ言語表現(基本制御構造など) 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表現 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語をアセンブリ言語の関係を理解できる。 Maikanの分類プログラミング 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 A C言語とアセンブリョ語の関係を理解できる。 A C言語とアセンブリョ語の関係を理解できる。 A C言語とアセンブリョ語の関係を理解できる。 A C言語とアセンブリョ語の関係を理解できる。 A C C S S A C S S A C S S A C S S A C S S A C S S A C S S A C S S A C S S A C S S A C S S A C S S A C S S S A C S S A C S S A C S S S S			頭質員究電 (Page 1) (Page 2) (Page	の回答状況等を加味(30 A	の平均点で定期試 0%)し,各到達目 u-ct.ac.jp ,マイクロプロセ き数変換,補数表類 ラミングモデルと ラミングモデルと き で、シングモー を命令: LD,LAD,SU を命令: ADDA,SU	験結果を評価する 標の達成度を確認 ッサCOMET II の 見 実効アドレス ード ST	週ご 1 1 1 2 3。 2 3。 2 3。	。その他, 成績評価をす との到達目標 マイクロプロ マイクロプロ マイクロプロアセンブリ言 アセンブリ言	ソフトウェア演 る。 1セッサの概要か 1セッサの概要か 1セッサの概要か 1セッサの概要か 言語プログラミン 言語プログラミン	習課題および個別が理解できる。 が理解できる。 が理解できる。 が可能できる。 ができる。 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解		
10週 C言語プログラムのアセンブリ言語表現(基本制御構造 など) 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 11週 C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表 現場できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。	C言語プログラムのアセンブリ言語表現(基本制御構造 など) 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。	授業計画		頭質員究電問 有力線 中一個 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	の回答状況等を加味(30 面田 秀和 A棟 2階 (A-220) 器 A棟 2階 (A-220) 器 8957 : machida@maizur 授業内容 シラバス内容の説明 概要 2進数表現のための基 COMET II のプログラ CASL II の命令、転送 CASL II の命令、転送 CASL II の命令、気貨 : JUMP,JPL,JMI,JZ	の平均点で定期試 0%)し,各到達目 u-ct.ac.jp ,マイクロプロセ き数変換,補数表類 ラミングモデルと ラミングモデルと き で、シングモー を命令: LD,LAD,SU を命令: ADDA,SU	験結果を評価する 標の達成度を確認 ッサCOMET II の 見 実効アドレス ード ST	週ご 1 1 1 2 3。 2 3。 2 3。 2 3。	。)。その他, 或績評価をす との到達目標 マイクロプロ マイクロプロアセンブリ言 アセンブリ言 アセンブリ言	ソフトウェア演 る。 コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か 語 プログラミン 語 プログラミン 語 プログラミン	習課題および個別が理解できる。 が理解できる。 が理解できる。 ができる。 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解		
C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解でき	C言語のif文およびswitch-case文のアセンブリ言語表 現 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 C言語のfor文およびbreak,continue文のアセンブリ言語の関係を理解できる。 数直線の分類プログラミング 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 インデクス付間接アドレッシングによる配列の取り扱い 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 ソートプログラムへの応用など 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。	授業計画		頭質員究電問 有力線 中一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一	の回答状況等を加味(30 面田 秀和 A棟 2 所 A棟 2 所 B A棟 2 所 A棟 2 所 E A棟 2 所 B 957 E Machida@maizur 授業内容 シラバス内容の説明 概要 2進数表現のための基 COMET II のプログラ CASL II の命令、転送 CASL II の命令、転送 CASL II の命令、気貨 CASL II の命令、気貨 E Machida の命令、気候 E Machida の命令、気候	の平均点で定期試 のののででででででででです。 ののでは、 のの	験結果を評価する 標の達成度を確認 ッサCOMET II の 現 実効アドレス ード ST	週ご 1 1 1 2 3。 2 3。 2 3。 2 3。 2 3。	。)。その他, 或績評価をす との到達目標 マイクロプロ マイクロプロアセンブリ言 アセンブリ言 アセンブリ言 アセンブリ言	ソフトウェア演 る。 コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か 語 プログラミン 語 プログラミン 語 プログラミン	習課題および個別が理解できる。 が理解できる。 が理解できる。 ができる。 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解		
	C言語のfor文およびbreak,continue文のアセンブリ言語の関係を理解できる。 数直線の分類プログラミング インデクス付間接アドレッシングによる配列の取り扱い ソートプログラムへの応用など 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。	授業計画		頭質員究電 門。 自用 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個	の回答状況等を加味(30 A	の平均点で定期試 0%)し,各到達目 u-ct.ac.jp ,マイクロプロセ .数変換,補数表理 ラミングモデルと ラミングモデルと に でかから、ADDA,SU を を を を を を を を を を を を を を を と の と の を と の と の	験結果を評価する 標の達成度を確認 ッサCOMET II の 現 実効アドレス ード ST IBA	週ご 1 1 1 2 3。 2 3。 2 3。 2 3。 2 3。 2 3。	。)。その他, 或績評価をす との到達目標 マイクロプロ マイクロプロアセンブリ言 アセンブリ言 アセンブリ言 アセンブリ言	ソフトウェア演 る。 コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か 語プログラミン 語プログラミン 語プログラミン	習課題および個別が理解できる。 が理解できる。 が理解できる。 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解		
2ndQ 12週	数直線の分類プログラミング3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。インデクス付間接アドレッシングによる配列の取り扱い3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。ソートプログラムへの応用など3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。	授業計画		頭質員究電 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	の回答状況等を加味(30 mm 5 mm	の平均点で定期試 0%)し、各到達目 u-ct.ac.jp , マイクロプロセ 数変換、補数表理 ラミングモデルと ラミングモデルと を命令: LD,LAD,S 算命令: ADDA,SU を命令 E,JNZ,JOV	験結果を評価する標の達成度を確認 ッサCOMET II の 現 実効アドレス ード ST IBA	週ご 1 1 2 3 2 3 2 3 2 3 3	。)。その他, 或績評価をす との到達目標 マイクロプロ マイクロブリョ アセンブリョ アセンブリョ アセンブリョ アセンブリョ アセンブリョ	ソフトウェア演 ・ ファークション ・ ログラミン ・ 語プログラミン ・ 語プログラミン ・ 語プログラミン ・ 語プログラミン ・ 語プログラミン ・ 記語プログラミン ・ ご語プログラミン ・ ご語プログラミン ・ ご語プログラミン	習課題および個別が理解できる。 が理解できる。 が理解できる。 グの基本を理解 グの基本を理解 グの基本を理解 グの基本を理解 グの基本を理解		
	インデクス付間接アドレッシングによる配列の取り扱い 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。 ソートプログラムへの応用など 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。	授業計画	1stQ	頭教研内 e-mail: 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	の回答状況等を加味(30 ME A A 東 2 下 (A-220) 器 A 東 2 下 (A-220) 器 8957 : machida@maizur 授業内容 シラバス内容の説明 概要 2進数表現のための基 COMET II のプログラ CASL II の命令、転送 CASL II の命令、転送 CASL II の命令、気貨 CASL II の命令、気貨 ・ JUMP, JPL, JMI, JZ 前期中間試験 アセンブリ言語CAS C言語プログラムのなど) C言語のfor文および 現	の平均点で定期試の%)し、各到達目 u-ct.ac.jp , マイクロプロセ 基数変換、補数表理 ラミングモデルと ラミングモデルと を命令: LD,LAD,SU を命令: ADDA,SU を命令 E,JNZ,JOV LIIによるプログラ アセンブリ言語表理 witch-case文のア	験結果を評価する標の達成度を確認でするでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	週ご 1 1 2 2 3 2 3 2 3 3	。)。その他, 成績評価をす との到達目標 マイクロプロ マイクロブリョ アセンブリョ アセンブリョ アセンブリョ アセンブリョ アセンブリョ アセンブリョ こ言語とアセ	ソフトウェア演 コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサのの概要か コセッサので 語プログラミン 語プログラミン ご語プログラミン ご語プログラミン ンブリ言語の関 ンブリ言語の関	習課題および個別が理解できる。 が理解できる。 が理解できる。 グの基本を理解 グの基本を理解 グの基本を理解 グの基本を理解 グの基本を理解 グの基本を理解 グの基本を理解		
14週 インデクス付間接アドレッシングによる配列の取り扱 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解でき	ソートプログラムへの応用など 3 C言語とアセンブリ言語の関係を理解できる。	授業計画	1stQ	頭教研内e-mail: 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	の回答状況等を加味(30mm) では 所用 秀和 (A-220) を A棟 2階 (A-220) を 8957 を 8957 を Machida@maizur を 2世 数表現のためのを 2世 数表現のためのを COMET II の命令とアト CASL II の命令、 転送 CASL II の命令、 気質 SASL II の命令 SASL	の平均点で定期試 の平均点で定期試 のののでは、各到達目 ローct.ac.jp 、マイクロプロセ 基数変換、補数表現 ラミングモデルと デッレッシングモー を命令: LD,LAD,S 算命令: ADDA,SU を命令 E,JNZ,JOV LII によるプログラ アセンブリ言語表現 witch-case文のア break,continue文	験結果を評価する標の達成度を確認でするでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	週ご 1 1 1 2 3 2 3 2 3 3 3	o)。その他, 成績評価をす との到達目標 マイクロプロプロアセンブリ言 アセンブリ言 アセンブリ言 アセンブリ言 アセンブリ言 アセンブリ言	ソフトウェア演 フレッサの概要か フセッサの概要か フセッサの概要が フログラミン 言語プログラミン 言語プログラミン 言語プログラミン ご語プログラミン ンブリ言語の関 ンブリ言語の関	習課題および個別できる。 「理解できる。」できる。 「理解できる。」での基本を理解 「グの基本を理解」である。 「グの基本を理解」がの基本を理解 「グの基本を理解」がの基本を理解 「グの基本を理解」がの基本を理解 「グの基本を理解」がの基本を理解 「グの基本を理解」がの基本を理解 「グの基本を理解」がある。 「係を理解できる。		
		授業計画	1stQ	頭 (a)	の回答状況等を加味(30 A	の平均点で定期試の%)し、各到達目 u-ct.ac.jp , マイクロプロセ 基数変換、補数表理 ラミングモデルと を命令: LD,LAD,S 算命令: ADDA,SU を命令 E,JNZ,JOV LIIによるプログラ アセンブリ言語表理 witch-case文のア break,continue文	験結果を評価する標の達成度を確認 で サ COMET II の 現	週ご 1 1 1 2 3。 2 3。 2 3。 3 3	との到達目標 マイクロプロアセンブリョアセンブリョアセンブリョアセンブリョアセンブリョアセンブリョアセンブリョアセンブリョアセンブリョアセンブロリョアセンブロリョアセンブローのでは、アローのではのではでは、アローのでは、アローのでは、アローのではでは、アローのではでは、アローのでは、アローのでは、アローのではでは、アローのではでは、アローのではのではでは、アロー	ソフトウェア演 フセッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサのの概要か コセッサのがあまった。 語デログラミン 語語プログラミン ンブリ言語の関 ンブリ言語の関 ンブリ言語の関 ンブリ言語の関	習課題および個別できる。 「理解できる。」でできる。 「理解できる。」での基本を理解 「グの基本を理解」での基本を理解 「グの基本を理解」である。 「係を理解できる。 「係を理解できる。 「係を理解できる。 「係を理解できる。		
		授業計画	1stQ	頭教研内 e-mail: 週 1週 2週 3週 4週 5週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 12週 13週 14週 14週 14週 14週 14週 14週 14週 14週 14週 14	の回答状況等を加味(30mm) では の回答状況等を加味(30mm) では の面と A棟 2 mm (A-220) を 8957 に Machida@maizur を 8957 に Machida@machida@machida@machida@machida@machida@machida@machida@machida@machida@machida@machida@machida@machida@machida@machida@machida@machida@machi	の平均点で定期試のののでは、 のででででででででででです。 のででででででする。 のででででする。 のででででする。 を数変換、補数表する。 ででしている。 ででしている。 でのででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 ので	験結果を評価する標の達成度を確認 で サ COMET II の 現	週ご 1 1 1 2 3 2 3 2 3 3 3 3	o)。その他, が横評価をす との到達目標 マイイクロプロプロアセンブリョ アセンブリョ アセンブリョ アセンブリョ アセンブリョ C言語とアセ C言語とアセ C言語とアセ	ソフトウェア演 コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサのがあっまい 語語プログラミン 語語プログラミン ご語プログラミン ご語プログラミン ンブリ言語の関 ンブリ言語の関 ンブリ言語の関 ンブリ言語の関	習課題および個別できる。 「理解できる。」できる。 「理解できる。」での基本を理解 「グの基本を理解」である。 「グの基本を理解」がの基本を理解 「グの基本を理解」がの基本を理解 「グの基本を理解」がの基本を理解 「係を理解できる。 係を理解できる。 係を理解できる。 係を理解できる。		
10地 開州が小小県バッノオロー,判集文理師 3 C言語とアピノノソ言語の関係を理解でき	·	授業計画	1stQ	題教研内 e-mail: 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	の回答状況等を加味(30	の平均点で定期試のののでは、 のでででででででででででです。 のでででででででする。 のでででででする。 のででででする。 のでは、一般では、一般では、 のでのでは、 のでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでは	験結果を評価する標の達成度を確認 ッサCOMET II の 現 実効アドレス ード ST IBA ラミング 現(基本制御構造 アセンブリ言語表 なのアセンブリ言 る配列の取り扱	週ご 1 1 1 2 2 3 2 3 3 3 3 3	か。 さいでは との子の他、 でででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	ソフトウェア演 型セッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か コログララミン 語 プログラミン 語 プログラミン ブリリ言語の関 ンブリリ言語の関 ンブリリ言語の関 ンブリリ言語の関 ンブリリ言語の関 ンブリリ言語の関	習課題および個別できる。 「理解できる。」で理解できる。」では、一次の基本を理解 「グの基本を理解」である。 「グの基本を理解」がの基本を理解 「グの基本を理解」がの基本を理解 「グの基本を理解できる。 「係を理解できる。 「係を理解できる。 「係を理解できる。 「係を理解できる。 「係を理解できる。 「係を理解できる。 「係を理解できる。 「係を理解できる。 「係を理解できる。		
エニルコフカリナュニノの学羽内容を到き中極	ハルフ ションス・ク アロチロ 神	授業計画	1stQ	頭教研内 e-mail: 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 12週 13週 14週 15週 15週 16週	の回答状況等を加味(30 Am 2 Am	の平均点で定期試のののでででででででででででででででででででででででででです。 ローct.ac.jp ローct.ac.jp 、マイクロプロセーを数変換、補数表表のででででででででででででできる。 このでは、ADDA、SUを合うでででできる。 はなるプログラアセンブリ言語表ができる。 ではなるプログラアセンブリ言語表ができる。 ではないではないでは、このではなどでできる。 の応用などのででは、ADDA、SUを表している。 ロー、到達度確認	験結果を評価する標の達成度を確認 ッサCOMET II の 現 実効アドレス ード ST IBA ラミング 現(基本制御構造 アセンブリ言語表 なのアセンブリ言 る配列の取り扱	週ご 1 1 1 2 2 3 2 3 3 3 3 3	か。 さいでは との子の他、 でででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	ソフトウェア演 型セッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か コログララミン 語 プログラミン 語 プログラミン ブリリ言語の関 ンブリリ言語の関 ンブリリ言語の関 ンブリリ言語の関 ンブリリ言語の関 ンブリリ言語の関	習課題および個別できる。 「理解できる。」で理解できる。」がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解 がのを理解できる。 係を理解できる。 係を理解できる。 係を理解できる。 係を理解できる。 係を理解できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標		授業計画	1stQ	頭教研内 e-mail: 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 12週 13週 14週 15週 15週 16週	の回答状況等を加味(30 Am 2 Am	の平均点で定期試のののでででででででででででででででででででででででででです。 ローct.ac.jp ローct.ac.jp 、マイクロプロセーを数変換、補数表表のででででででででででででできる。 このでは、ADDA、SUを合うでででできる。 はなるプログラアセンブリ言語表ができる。 ではなるプログラアセンブリ言語表ができる。 ではないではないでは、このではなどでできる。 の応用などのででは、ADDA、SUを表している。 ロー、到達度確認	験結果を評価する標の達成度を確認 ッサCOMET II の 現 実効アドレス ード ST IBA ラミング 現(基本制御構造 アセンブリ言語表 なのアセンブリ言 る配列の取り扱	週ご 1 1 1 2 2 3 2 3 3 3 3 3	か。 さいでは との子の他、 でででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	ソフトウェア演 型セッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か コセッサの概要か コログララミン 語 プログラミン 語 プログラミン ブリリ言語の関 ンブリリ言語の関 ンブリリ言語の関 ンブリリ言語の関 ンブリリ言語の関 ンブリリ言語の関	習課題および個別できる。 「理解できる。」で理解できる。」がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解 がの基本を理解 がのを理解できる。 係を理解できる。 係を理解できる。 係を理解できる。 係を理解できる。 係を理解できる。		

				基本的なアルゴリ	3				
				プログラミング言	プログラミング言語を用いて基本的なプログラミングができる。				
				整数、小数を2進	数、10進数、16進	数で表現できる。		3	
				基数が異なる数の	間で相互に変換で	きる。		3	
4	分野別の専	電気・電子 系分野	<u>.</u>	基本的な論理演算	を行うことができ	3.		3	
	工学		「情報	基本的な論理演算 表現できる。	を組み合わせて任意	意の論理関数を論理	式として	1	
				MIL記号またはJIS を論理式で表現で	MIL記号またはJIS記号を使って図示された組み合わせ論理回路 を論理式で表現できる。				
				論理式から真理値	表を作ることがで	きる。		1	
				論理式をMIL記号	1				
評価割合									
	試験		 発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合語	†
総合評価割合	70		20	0	0	10	0	10)
基礎的能力	0		0	0	0	0	0	0	
専門的能力	70		20	0	0	10	0	10	0
分野横断的能力	b 0		0	0	0	0	0	0	